

長野県セーリング連盟 スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け> 自己説明

最終更新日： 令和 3年 3月 6日

【対応状況に係る自己評価】 A：対応している B：一部対応している C：対応できていない

項目	原則	審査項目	自己説明	対応状況
1	原則1：法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	(1)法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	・適正なガバナンス体制のさらなる確保のため、出来るだけ早い機会に法人化を目指す。 ・時期については自己説明の状況により判断し決定する。	対象外
2		(2)法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	・「規約」制定し運営している。 ・理事会を年2回以上通常4回開催している。 ・会計処理は団体専用銀行口座で管理している	A
3		(3)事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	・諏訪湖では諏訪市立諏訪湖ヨットハーバー、木崎湖では大町市B & G海洋センターを使用し、市の使用規定に準じて利用している。 ・諏訪湖ではレースやイベントの際は関係部署に届け出て取り決め事項を遵守している。	A
4		(4)適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	・会長以下役員一覧をホームページに公表 ・理事会を年4回開催 ・総会を年1回開催 ・委員会を設置しているがまだ全てが機能していない為、徐々に仕事を分散して委員会機能を充実させていく。	B
5	原則2：組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである	(1)組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	・基本方針は未設定の為、今後1年をかけて策定 ・策定にあたっては随時会員から意見聴取する。 ・基本方針策定後はホームページに掲載する。	C

項目	原則	審査項目	自己説明	対応状況
6	原則3：暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	(1) 役職員に対し、コンプライアンス教育を実施している。又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹部役員を日本セーリング連盟主催のコンプライアンス研修に派遣 ・ 3月に役員向けコンプライアンス研修を実施予定（理事会の日に開催） ・ 今後下部組織代表者にも研修の案内をしていく。 	B
7		(2) 指導者、競技者等に対し、コンプライアンス教育を実施しているか、又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ シーズンオフの勉強会で実施する。 ・ 練習時の風の無い時などを利用して実施する。 	B
8	原則4：公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	(1) 財務・経理の処理を適切に行い、公正な会計原則を遵守しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、必要な経理関係の規定を検討し、1年以内に整備予定 ・ 理事会に監事にも出席を促し、日常的な情報共有・連携に努めていく。 	B
9		(2) 国庫補助金等の利用に関し、適正な使用のために求められる法令、ガイドライン等を遵守しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公的助成に関する実施要項・ガイドライン等を遵守して処理を実行している。 ・ 旅費・謝金は決めているが規定として定めていない為、規定として定めて会計処理手続等を実施していく。 	A
10		(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダブルチェックが出来ていない部分もあったので今後支出の際は必ずダブルチェックしていく。 ・ 年1回監事監査を実施 	B

項目	原則	審査項目	自己説明	対応状況
11	原則5：法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織	(1)法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	・法令に基づく情報公開の対象はなし	対象外
12	運営にかかわる情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	(2)組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	・ホームページを開設したのが今年度の為、今後、役員一覧・昨年度事業報告及び決算等公表していく予定。 ・ガバナンスコード実施状況の資料はホームページに公表予定	B
原則6：高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。				